

第4章 みどりあふれる持続可能なエコタウン

エネルギーや資源を多量に消費する浪費型の生活を見直し、人と自然がともに生きる、みどりあふれる持続可能なまちをめざします。

施策体系

1 低炭素社会
1 地球温暖化緩和策の推進
2 エネルギー使用に伴う環境負荷の低減
3 気候変動の影響への適応
2 みどり・生物
1 生物多様性への理解の推進
2 人と自然との絆の強化
3 みどりと水の保全
3 循環型社会
1 『もったいない』社会の形成
2 ごみ処理の低炭素化の推進
3 ごみの適正な処理の推進
4 大気・水環境等
1 大気環境の保全
2 水環境等の保全
3 土壌・地盤環境の保全
4 生活環境対策の推進
5 化学物質の環境リスクの管理

第1節 低炭素社会

評価指標

市域における温室効果ガス排出量の削減率				まちごとエコタウン推進課				
	H28		R元	R2	R3	R4	R5	R6
現状値	4.8	目標値	7.6	9.3	11.0	12.7	14.4	16.1
	単位:%	実績値	15.1	24.9	未確定			

地球温暖化対策の効果を示す指標です。
 現 状:「所沢市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)」に掲げる目標で、平成25年度を基準年度とした温室効果ガス排出量の平成28年度の削減割合です。
 目 標:令和6年度までに16.1%の削減をめざすものです。

4-1-1 地球温暖化緩和策の推進

(千円)

最優先	低公害車導入事業	管財課	指標	既存	R4	11,585		
			期間: H13 ~		R5	16,572		
	概要	所沢市まちごとエコタウン推進計画及び埼玉県地球温暖化対策推進条例に基づき、地球温暖化緩和策を推進するため、ハイブリッド車等を導入することにより、温室効果ガスの排出を削減し、本市が掲げるゼロカーボンシティの実現に寄与するものである。					R6	16,572
							R7	16,572
	まちごとゼロカーボン市民会議開催事業	まちごとエコタウン推進課		新規	R4	5,030		
			期間: R4		R5			
	概要	ゼロカーボンシティの実現に向けて、どういった道筋やライフスタイルの選択をするかといった観点で市民に意見を求めるべく、「気候市民会議」を開催するものである。					R6	
							R7	
	環境対策推進事業(低公害車導入)	経営課	指標	既存	R4	6,725		
			期間: R3 ~		R5	5,162		
概要	地球温暖化緩和策を推進するため、次世代自動車(HV、EV)を導入することにより、温室効果ガスの排出を削減し、本市が掲げるゼロカーボンシティの実現に寄与するものである。併せて、EVの導入に伴い、上下水道局庁舎内において、充電設備の拡充を図る。					R6	7,593	
						R7	7,493	

4-1-2 エネルギー使用に伴う環境負荷の低減

(千円)

最優先	公共施設太陽光発電導入調査事業	まちごとエコタウン推進課	指標	新規	R4	14,300		
			期間: R4		R5			
	概要	ゼロカーボンシティの実現に向けたさらなる再生可能エネルギーの導入を進めるため、太陽光発電設備が未設置である公共施設における導入調査を実施し、今後の導入計画の基礎とするものである。					R6	
							R7	
	再生可能エネルギー普及推進事業	まちごとエコタウン推進課	指標	既存	R4	64,757		
			期間: H30 ~		R5	61,284		
	概要	「所沢市まちごとエコタウン推進計画」に基づき、脱炭素社会の構築に向け、市域の再エネ利用を推進するものである。					R6	23,037
							R7	23,037
	公務におけるシェアサイクルの活用実証実験	管財課 商業観光課		新規	R4	1,471		
			期間: R4		R5			
概要	令和2年度より実施しているシェアサイクル実証実験について、ゼロカーボンシティの実現のための取組みの一環として、公務におけるシェアサイクルの活用の検証を進めるものである。					R6		
						R7		

最優先	学校施設太陽光発電設備設置事業	教育施設課	指標	新規	R4	21,340	
			期間: R4 ~ R5		R5	未定	
	概要	温室効果ガスの排出量の削減に向けて、省エネルギー化や再生可能エネルギーの活用を進めていく必要があるため、令和4年度に屋上防水改修工事を実施する学校に速やかに太陽光発電設備を設置することにより、再生可能エネルギーの活用を推進するものである。				R6	
						R7	
小手指公民館太陽光発電設備設置事業	社会教育課	指標	新規	R4	6,615		
		期間: R4 ~ R5		R5	27,000		
概要	公共施設への太陽光導入の率先実行を行い、再生可能エネルギーのより一層の導入により脱炭素社会を目指すものである。また、自然災害による停電時の電源確保が危機管理上重要となることから災害時現地対策本部となる施設へ太陽光発電設備を設置するものである。				R6		
					R7		

優先	市営自転車駐車場照明灯LED化整備事業	防犯交通安全課		新規	R4	7,865	
			期間: R4		R5		
	概要	市営自転車駐車場における水銀照明灯について、老朽化が進んでいることや令和2年度末をもって水銀灯の製造・輸入が禁止されたことを踏まえ、LED照明灯に改修するものである。				R6	
						R7	
	道路照明灯(デザイン灯)LED化整備事業	建設総務課		新規	R4	23,672	
			期間: R4 ~ R7		R5	28,850	
	概要	水銀灯等を使用している道路照明灯(デザイン灯)について順次LED化を行い、より安全で快適な道路環境を確保するとともに、水銀による環境汚染等の防止、LED化によるCO2排出量及び維持管理費の削減を図る。				R6	50,303
						R7	40,318
	小手指公民館分館ホール照明LED化整備事業	社会教育課		新規	R4	8,512	
			期間: R4		R5		
	概要	2階ホール天井の照明を水銀灯からLEDにするものである。水銀灯は既に生産が中止されており、入手が困難となり交換できない事態が発生する。また、水銀灯からLEDに変えることによって電力消費量が抑えられ、脱炭素社会の実現に貢献するものである。				R6	
						R7	
学校開放施設夜間照明灯LED化整備事業	スポーツ振興課		新規	R4	17,567		
		期間: R4		R5			
概要	学校開放をしている学校のうち、夜間照明設備が設置されている6校について、「水銀による環境の汚染の防止に関する法律」の施行に伴い、既存の照明灯のLED化を実施し、CO2排出量の削減及び光熱水費等の維持管理費の削減を図るものである。				R6		
					R7		
生涯学習推進センター体育室照明LED化整備事業	生涯学習推進センター		新規	R4	9,800		
		期間: R4		R5			
概要	生涯学習推進センターの体育室では、天井の照明灯に水銀灯を使用している。令和2年末をもって水銀灯の製造・輸入が禁止されたことを踏まえ、天井の照明灯をLED照明灯に改修するものである。				R6		
					R7		
重要	所沢市民体育館等LED化整備事業	スポーツ振興課		既存	R4	6,312	

4-1-3 気候変動の影響への適応

(千円)

最優先	所沢市総合治水対策事業(清柳橋改築事業)	道路建設課		既存	R4	153,000	
			期間: H30 ~ R7		R5	30,000	
	概要	本市を流域に持つ柳瀬川における今後の浸水被害の軽減を図るために、東川との合流点下流に位置する清柳橋について、道路管理者である所沢市と清瀬市及び河川管理者である埼玉県とともに改築に取り組むものである。				R6	20,000
						R7	18,340

優先 概要	樽井戸川第一調節池用地取得事業	河川課	新規	R4	31,684
			期間: R4	R5	
				R6	
				R7	

事業目標

4 1 1 市の事務事業から発生する温室効果ガスの削減率		マチごとエコタウン推進課						
現状値 単位: %	H28	R元	R2	R3	R4	R5	R6	
	15.2	目標値	20.2	21.9	23.6	25.2	26.9	28.6
	実績値	67.4	68.1	未確定				

市の事務事業から発生する温室効果ガスに関して、市の率先取組による削減状況を示す指標です。
 現状: 平成28年度における、平成25年度基準年度とした温室効果ガスの削減割合です。
 目標: 令和6年度までに28.6%をめざすものです。

4 1 2 市域における再生可能エネルギー設備の総出力		マチごとエコタウン推進課						
現状値 単位: MW	H28	R元	R2	R3	R4	R5	R6	
	33.6	目標値	36.6	37.8	39.0	40.2	41.4	42.6
	実績値	37.4	39.1	未確定				

市内に設置されている太陽光発電システム等の再生可能エネルギー設備の総出力を示す指標です。
 (国の統計値を用いた推計値)
 現 状: 平成28年度末の、資源エネルギー庁が公表している「B表 市町村別認定・導入量」における再生可能エネルギー設備の導入容量です。
 目 標: 令和6年度までに42.6MWをめざすものです。

4 1 3 雨水流出抑制指導による施設の設置割合		河川課					
現状値 単位: %	H29	R元	R2	R3	R4	R5	R6
	100	目標値	100	100	100	100	100
	実績値	100	100	未確定			

河川・水路の氾濫防止や地下水のかん養を図る取り組み状況を示す指標です。
 現 状: 平成29年度の開発時における雨水流出抑制指導により、施設を設置した事業者の割合です。
 目 標: 毎年度100%をめざすものです。



メガソーラー所沢 (とことこソーラー北野)

市HPで発電量をチェック



第2節 みどり・生物

評価指標

新たなみどりの確保量			みどり自然課					
現状値	H29	目標値	R元	R2	R3	R4	R5	R6
	55.07		75.00	80.00	85.00	90.00	95.00	98.00
単位:ha	実績値	86.16	96.83	未確定				

みどりを新たに確保する取り組みの成果を測る指標です。
 現 状:平成29年度の「所沢のみどりの基本計画」に規定する地域制緑地を新規指定・拡大をした累計の面積です。
 目 標:令和6年度までに98.00haをめざすものです。

4-2-1 生物多様性への理解の推進

4-2-2 人と自然との絆の強化

(千円)

最優先	緑地紹介映像作成事業	みどり自然課	新規	R4	605
			期間:R4	R5	
	概要	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により様々なイベントの実施が困難な状況が続き、みどりの啓発の機会も縮小されつつある。このため、緑地の紹介映像を制作することで、広く効果的に本市のみどりの魅力を発信し、みどりの保全への意識高揚を図る。			
		R6		R7	
優先	みどりのパートナー活動推進事業	みどり自然課	指標 既存	R4	8,240
			期間:H24~	R5	5,621
	概要	「みどりのパートナー」として登録した個人や団体に対して、みどりの保全や緑化の活動を行うための支援を行うことにより、本市のみどりをより豊かにする市民活動を推進する。			
		R6	7,024	R7	8,240
重要	ふるさとのみどり啓発事業	みどり自然課	指標 既存	R4	1,893

4-2-3 みどりと水の保全

(千円)

最優先	里山保全地域等指定整備事業	みどり自然課	指標 既存	R4	59,161
			期間:H24~	R5	未定
	概要	市内に残された貴重な緑地を保全し、未来の子どもたちにふるさと所沢のみどりを継承するため、里山保全地域等の指定を行うとともに、相続や開発等の事由により消失のおそれがある緑地の公有地化を行う。			
		R6	未定	R7	未定
最優先	みどりのエコスポット整備事業	みどり自然課	既存	R4	5,200
			期間:R3~	R5	5,200
	概要	「所沢のみどりの基本計画」において重点的に緑化に配慮すべきとする「緑化重点地区」内の低未利用地のうち、300㎡未満の土地について、市民の憩いの場として整備し、みどりの貴重なまちなかでの動植物の生息、生育地を創出する。			
		R6	5,200	R7	5,200
優先	北秋津・上安松地区都市緑地保全事業	公園課	既存	R4	348,476
			期間:R3~	R5	418,815
	概要	所沢のみどりの基本計画に基づき、当該地区(本区域内)のまとまりのある貴重な緑を保全するため、用地の取得及び保全管理を行うものである。			
		R6	298,041	R7	362,220
優先	みどりの基本計画推進事業	みどり自然課	既存	R4	425
			期間:H21~	R5	425
	概要	みどりの基本計画に基づく施策や事業の進行管理を行うことにより、みどりの保全や創出に係る施策や事業等の進展を図る。また、「所沢のみどりの審議会」において、多角的かつ専門的な視点からみどりの基本計画の施策や各種事業等の検討を行う。			
		R6	425	R7	425

重要	緑地管理整備推進事業	みどり自然課			既存	R4	123,264
	保存樹木等指定促進事業	みどり自然課			既存	R4	3,368
	グリーンカーペット促進事業	みどり自然課			既存	R4	960
	みどりの街並み創出事業	みどり自然課			既存	R4	297
	水とみどりがつくるネットワーク計画推進事業	みどり自然課			既存	R4	0
	水田景観保全事業	みどり自然課			既存	R4	628
	ふるさとの川再生事業	河川課		指標	既存	R4	300
	東川桜舞う遊歩道事業(COOL JAPAN FOREST構想事業)	河川課			既存	R4	5,921
	砂川堀水辺保全・散策路整備事業	河川課			既存	R4	80,116

事業目標

4 2 1 みどりとふれあうイベントの参加者数		みどり自然課					
	H29	R元	R2	R3	R4	R5	R6
現状値	1,767	目標値	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
単位:人	実績値	1,855	実施なし	実施なし			

みどりとふれあうイベントの参加者数を示す指標です。
 現 状:平成29年度のみどりのふれあいウォークの参加者数です。
 目 標:毎年度2,000人以上をめざすものです。

4 2 2 みどりのパートナーの登録者数		みどり自然課					
	H29	R元	R2	R3	R4	R5	R6
現状値	1,368	目標値	1,395	1,400	1,405	1,410	1,415
単位:人	実績値	1,410	1,500	未確定			

みどりの保全・創出を目的とした「みどりのパートナー制度」の登録者数を示す指標です。
 現 状:平成29年度のみどりのパートナー制度に登録した個人及び団体の構成員の人数です。
 目 標:令和6年度までに1,420人をめざすものです。

4 2 3 水辺のサポーター・ふるさとの川再生事業団体数		河川課					
	H29	R元	R2	R3	R4	R5	R6
現状値	8	目標値	8	8	9	9	10
単位:団体	実績値	8	9	9			

河川・水路機能充実に対する取り組み状況を示す指標です。
 現 状:平成29年度における河川の清掃等のボランティア活動を行う市民団体数です。
 目 標:令和6年度までに10団体をめざすものです。

4 2 3 都市公園の整備面積		公園課					
	H29	R元	R2	R3	R4	R5	R6
現状値	141.19	目標値	142.41	143.14	144.22	145.24	146.16
単位:ha	実績値	142.12	142.49	未確定			

公園の整備状況を示す指標です。
 現 状:平成29年度末における都市公園の面積です。
 目 標:令和6年度末までに整備面積148.02haをめざすものです。

第3節 循環型社会

評価指標

市民1人1日あたりのごみの排出量			資源循環推進課					
	H29		R元	R2	R3	R4	R5	R6
現状値	580.0	目標値	579.3	578.5	577.8	577.1	576.4	575.6
	単位:g/人・日	実績値	583.1	592.7	未確定			

市民1人1日あたりのごみの排出量を測る指標です
 現 状:平成29年度の年間総ごみ量から、事業活動から出るごみや集団資源回収されたものを除き、市の人口で除して算出した排出量です。
 目 標:令和6年度までに575.6g/人・日をめざすものです。

4-3-1 『もったいない』社会の形成

(千円)

最優先	一般廃棄物減量化方策推進事業	資源循環推進課	指標	既存	R4	21,078
			期間: R3 ~ R7		R5	未定
	概要	さらなるごみ減量の推進を図るため、廃棄物減量等推進審議会に諮りながら、ごみ減量・資源化施策や、ごみ有料化制度の導入に関して他市の先進的な事例を調査するとともに、必要な計画等の策定を実施するものである。			R6	未定
					R7	未定
優先	プラスチックごみ削減推進事業	資源循環推進課	指標	既存	R4	2,581
			期間: R2 ~		R5	2,581
	概要	本市におけるプラスチックごみの削減を行うため、庁内外における様々な普及啓発施策を実施し、市民や市内事業者の中にプラスチックと賢く付き合う意識を醸成することで、使い捨てプラスチック等の使用抑制(排出抑制)を図るものである。			R6	2,581
					R7	2,581
重要	食品ロスゼロのまち促進事業	資源循環推進課		既存	R4	320
			期間: H26 ~		R5	未定
	概要	本市における食べ物を無駄にしない意識の醸成とその定着を図るため、食品ロスに関する周知・啓発、食品ロスの削減に取り組む協力店の認定等を行うものである。令和4年度も市内で発生する食品ロスの周知啓発を行い、事業を進める。			R6	未定
					R7	未定
重要	集団資源回収報償金交付事業	資源循環推進課	指標	既存	R4	65,560
	粗大ごみリユース推進事業	資源循環推進課	指標	既存	R4	17,884
	もったいないの心推進事業	資源循環推進課		既存	R4	9,980
	もったいないの心啓発事業	資源循環推進課		既存	R4	5,627

4-3-2 ごみ処理の低炭素化の推進

(千円)

優先	チャレンジ生ごみ減量推進事業	資源循環推進課	指標	新規	R4	7,490
			期間: R4 ~		R5	7,490
	概要	家庭から出る燃やせるごみの約4割といわれる生ごみを減量するため、家庭で簡単にできる生ごみ処理の方法について、作り方や管理の方法に係る講習会を開催し、普及啓発を図るものである。			R6	7,490
					R7	7,490

4-3-3 ごみの適正な処理の推進

(千円)

最優先	第2一般廃棄物最終処分場整備事業		資源循環推進課		既存	R4	539,332
				期間: H11~		R5	2,577,463
	概要 市内で発生する一般廃棄物の最終処分先として、自区内処理の原則に基づき、令和7年10月の供用開始を目指し、市内に新たな一般廃棄物最終処分場を整備するものである。					R6	2,541,712
						R7	1,907,410
	北野一般廃棄物最終処分場浸出液処理施設整備事業		西部クリーンセンター		既存	R4	135,069
				期間: R2~R4		R5	
概要 稼働開始から33年が経過し、老朽化が著しい浸出液処理施設の延命化を図るにあたり、埋立物の安定化が進み浸出水の水質が改善してきていることから、水質に合わせた処理システムを構築し、改修費用の削減とランニングコストの低減を図るものである。					R6		
					R7		

重要	ごみ収集事業		収集管理事務所		既存	R4	94,987
	ふれあい収集事業		収集管理事務所		既存	R4	1,471
	一般廃棄物収集運搬業務委託事業		収集管理事務所		既存	R4	878,000

事業目標

4 3 1 総ごみ量に対するリサイクル率		資源循環推進課						
	H29	R元	R2	R3	R4	R5	R6	
現状値	28.9	目標値	29.9	30.4	30.9	31.4	31.9	32.4
単位: %		実績値	29.2	31.0	未確定			

ごみの資源化に対する取り組み状況を示す指標です。
 現 状: 平成29年度における市民・事業者から排出される全ごみ量のうち、紙類、古布類、鉄・アルミなどを資源化させることができた割合です。
 目 標: 令和6年度までに32.4%をめざすものです。

4 3 2 ごみ焼却発電による場内電気使用量賄率		東部クリーンセンター					
	H29	R元	R2	R3	R4	R5	R6
現状値	73.83	目標値	89.78	100	100	100	100
単位: %		実績値	91.91	141.2	未確定		

東部クリーンセンターにおける、ごみ焼却で得られた電気の場内電気使用量に対する割合を示す指標です。
 現 状: 平成29年度の発電機からの電気で賄っている場内電気使用量の割合です。
 目 標: 令和2年度までに100%をめざすものです。

4 3 3 不法投棄物量		資源循環推進課						
	H29	R元	R2	R3	R4	R5	R6	
現状値	26.0	目標値	25.2	24.8	24.4	24.0	23.6	23.2
単位: t		実績値	21.9	12.9	未確定			


市で撤去した不法投棄物量を基に、相対的な不法投棄防止対策に関する取り組みの成果を測る指標です。
 現 状: 平成29年度における、市で撤去した不法投棄物量です。
 目 標: 令和6年度の不法投棄物量において、現状の1割以上の削減をめざすものです。

第4節 大気・水環境等

評価指標

大気環境にかかる環境基準の達成率				環境対策課				
現状値	H29	目標値	R元	R2	R3	R4	R5	R6
	86.4		86.4	88.6	90.9	93.1	95.4	97.7
単位：%	実績値	実績値	86.4	86.4	未確定			

大気環境の状況を示す指標です。
 現 状：平成29年度における、光化学オキシダントや二酸化窒素等の大気汚染物質にかかる環境基準を達成している割合です。
 目 標：令和6年度までに100%をめざすものです。



4-4-1 大気環境の保全

(千円)

重要	大気規制対象事業所検査事業	環境対策課	指標	既存	R4	1,903
	大気汚染状況の常時監視事業	環境対策課		既存	R4	22,846
	有害大気汚染物質等モニタリング調査事業	環境対策課		既存	R4	5,192

4-4-2 水環境等の保全

(千円)

重要	水質規制対象事業所検査事業	環境対策課		既存	R4	1,465
	公共用水域等汚濁状況の常時監視事業	環境対策課	指標	既存	R4	6,627
	浄化槽整備補助事業	資源循環推進課		既存	R4	6,240
	河川・水路維持管理事業	河川課		既存	R4	54,352

4-4-3 土壌・地盤環境の保全

4-4-4 生活環境対策の推進

(千円)

重要	公害等苦情相談事業	環境対策課	指標	既存	R4	4,078
	「環境美化の日」市内一斉美化清掃活動事業	生活環境課		既存	R4	8,730
	環境推進員活動促進事業	生活環境課		既存	R4	12,750
	あき地の雑草除去指導事業	生活環境課		既存	R4	1,206
	一般家庭生活廃水くみ取り事業	生活環境課		既存	R4	19,154
	犬の登録・狂犬病予防注射管理事業	生活環境課		既存	R4	4,446
	歩きたばこ等防止啓発事業	生活環境課		既存	R4	4,484

4-4-5 化学物質の環境リスクの管理

(千円)

重要	ダイオキシン類による汚染状況の常時監視事業(大気、水質及び土壌等)	環境対策課	指標	既存	R4	2,272
	放射性物質による環境汚染の監視・対処事業	環境対策課	指標	既存	R4	131

事業目標

4 4 1 大気規制対象事業所のばい煙にかかる排出基準適合率		環境対策課					
H29		R元	R2	R3	R4	R5	R6
現状値	100	100	100	100	100	100	100
単位:%	実績値	100	100	未確定			

大気規制対象事業所のうち、排出基準等に適合した事業所の割合を示す指標です。
 現 状:平成29年度の大気規制対象事業所のうち、排出基準等に適合した事業所の割合です。
 目 標:毎年度100%達成・維持をめざすものです。

4 4 2 水環境にかかる環境管理目標の達成率		環境対策課					
H29		R元	R2	R3	R4	R5	R6
現状値	100	100	100	100	100	100	100
単位:%	実績値	100	100	未確定			

生物化学的酸素要求量やカドミウム等の水質汚濁にかかる環境管理目標のうち、目標を達成しているものの割合を示す指標です。
 現 状:平成29年度の公共用水域の常時監視事業の結果において目標を達成しているものの割合です。
 目 標:毎年度100%達成・維持をめざすものです。

4 4 3 汚染拡散防止率		環境対策課					
H29		R元	R2	R3	R4	R5	R6
現状値	87	89	91	93	95	97	100
単位:%	実績値	91	96	未確定			

土壌汚染防止のため、対象事業所のうち汚染拡散防止措置等が実施された割合を示す指標です。
 現 状:平成29年度の土壌汚染が判明した事業のうち、汚染拡散防止措置等が実施されている事業所の割合です。
 目 標:令和6年度までに100%をめざすものです。

4 4 4 苦情相談解決率		環境対策課					
H29		R元	R2	R3	R4	R5	R6
現状値	93.2	93.5	93.8	94.1	94.4	94.7	95.0
単位:%	実績値	80.9	96.5	未確定			

公害等について寄せられた苦情・相談解決率を示す指標です。
 現 状:平成29年度の騒音・振動等にかかる苦情相談解決率です。
 目 標:令和6年度までに95%をめざすものです。

4 4 5 化学物質排出量		環境対策課					
H29		R元	R2	R3	R4	R5	R6
現状値	26.5	26.2	26.0	25.8	25.6	25.3	25.1
単位:t	実績値	22.6	22.1	未確定			

市域における化学物質排出量を示す指標です。
 現 状:平成29年度に報告があったPRTR届出データの化学物質排出量です。
 目 標:令和6年度までに現状値の5%減をめざすものです。